

凧と柳 芽吹き展

2018.4.16 月
|
20 金

ペーパーボイス
ヴェラム

[伊勢根付] 梶浦 明日香

[有松・鳴海絞] 大須賀 彩

[伊勢一刀彫] 太田 結衣

[尾張七宝] 田村 有紀

[豊橋筆] 中西 由季

[伊勢型紙彫刻] 那須 恵子

[伊賀くみひも] 藤岡 かほり

[美濃和紙] 松尾 友紀

[漆芸(伊勢)] 村上 麻紗子

[グラフィックデザイン] 柳 智賢

[コラボレーション]

凧九 × 柳 智賢 × 平和紙業株式会社

主催 凧九・柳 智賢・平和紙業株式会社

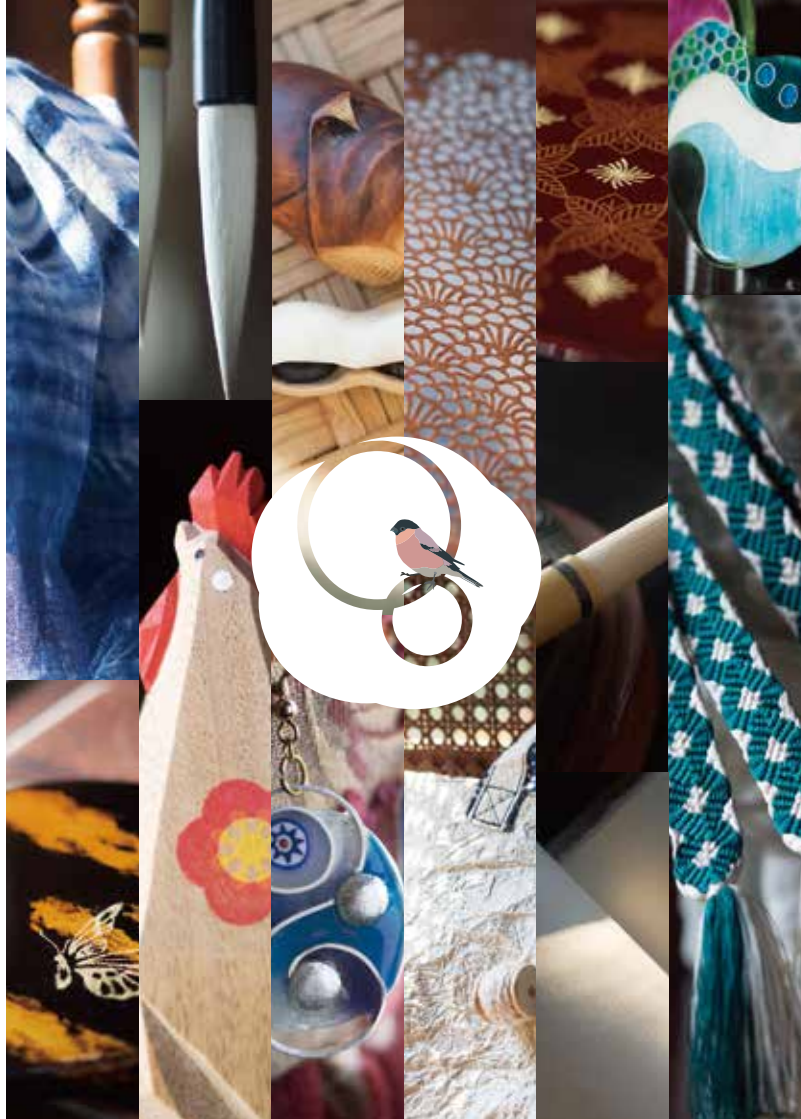
Location 古民家川原田邸

Photo 吉田宗義

Design・Direction 柳 智賢

contact:

link.kougei2017@gmail.com





私たち、
伝統工芸の職人です！

男性のイメージが強い伝統工芸の世界。
後継者がおらず、社会の移り変わりとともに
受け継ぐことが難しいとされる中で
9人の伝統工芸を受け継ぐ女性職人たちが
立ち上がり、グループを作りました。
女性らしいしなやかな感性で、
伝統工芸の世界を表現します。

根付、絞り染め、一刀彫、七宝、筆、型紙、和紙、組紐、漆
という、それぞれの技を受け継ぐ職人たち。
女性ならではの感性で、たくさんの人とリンクして、
多くの人に伝統工芸の魅力を届けていきます。



伊勢根付



根付とは、着物の帯に引っ掛けて巾着やタバコ入れなどを提げるための道具です。中でも伊勢根付は、江戸時代『無事カエル』という祈りを込めてカエルの根付を持って帰るなど、お伊勢参りの土産物として発展しました。

伊勢神宮の裏山にあたる朝熊山の黄楊の木を使うのが特徴で、今でも縁起や祈りといったたくさんの願いを込めて彫っています。



有松・鳴海絞

江戸時代の初めより400年の歴史を誇る有松・鳴海絞です。布の一部に糸で『縫う』『括る』『扶む』の3つの動作を施し、様々な模様を作り出します。

有松・鳴海絞の技法は、100種類を超え世界的に見ても圧倒的に多く、日本の誇れる技術です。そこから作り出される模様は、一つとして同じものはありません。

これらの伝統の技を受け継ぐとともに、現代の感性をも取り入れ、世界にたった一つのあなただけの『一点物』をお作り致します。

大須賀 彩

伊勢 一刀彫



伊勢地方に伝わる一刀彫は、古くより神宮ご造営に従事する宮大工が余技として端材を用いた縁起物等を刻んだ事が始まりといわれています。

ここでいう一刀彫とは、一本の彫刻刀で彫るのではなく一刀両断というように、一度の刻みがそのまま仕上がり面になるような荒削りで大胆な造形が特徴です。

”心が豊かになるような一刀彫”を心に留めて、女性ならではの感性を取り入れ現代にあった一刀彫を生み出します。

太田 結衣



尾張七宝

七宝焼とは、金属とガラスの合体工芸品。

中でも七宝焼発祥の地「七宝町」にて作られる七宝は尾張七宝とも呼ばれ高い技術力を誇ります。絵柄を描くのに金や銀を、釉薬は色鮮やかなクリスタルガラスを、途中何度も焼成をし、多くの工程を経て繊細な作品が生まれるのです。

宝飾品として栄えてきた世界に誇る日本の伝統工芸品。伝統や歴史を大切にしつつも現代に新たな可能性を打ち出していきます。目を奪われる七宝焼の美しさを知っていただきたいです。

田村 有紀

豊橋筆

豊橋筆の起源は1804年といわれています。

豊橋筆は「水を用いて練り混ぜ」するので墨になじみやすいため、書き味がすべるようだと多くの書家の絶賛を集めています。

現在では全国2位の生産本数を誇っており、特に高級品の分野に関しては生産本数、金額とも他産地を大きく引き離し、高級品の7割は豊橋で生産されています。

これまでの伝統、信頼を受けつぎ、丁寧に使い手の期待を裏切らないことを考えながらつくっています。

中西 由季

伊勢型紙



伊勢型紙とは着物やてぬぐいなどの布、紙や革などに模様を染める為の伝統の染色道具です。和紙を柿渋で貼り合わせ、丈夫にした型地紙に職人が刃物も自分で作り緻密な模様を彫ります。4つの彫刻技法はそれぞれ分業化され、生涯をかけて極めます。型紙の模様は花鳥風月、気象や文字など様々で日本人独自の感性が表れています。

型紙が『心を伝え、100年先も染め手を支える』存在であり続けられるよう、今私ができることを精一杯やっていきたいです。

那須 恵子




美濃和紙

美濃和紙とは、植物の樹皮である靱皮繊維を原料とし日本古来の製法で漉かれた紙で、豊かな自然と清らかな水を源とし生まれ、1300年以上の歴史があり、現存する最古の和紙とされています。

チリや傷を手作業で丁寧に取り除き、繊維を均一に絡み合わせることで繊細できめ細やかな風合いを持ち、ムラがなく美しく強靱で耐久性に優れていることから国内外から高い評価を得ています。

多種多様な文化芸術を陰で支えられるような漉き手を目指しています。

松尾 友紀



伊賀くみひも

組紐は仏具や装束、武士の武具、茶道具・刀剣の飾り紐、そして根付やたばこ入れの紐等、時代ごとに身の回りのものに使用されていました。

組み台には丸台・角台・綾竹台、高台などがあり、伊賀くみひもでは主に高台による、表現の幅の広い高麗組の帯締め为代表されます。

吸い付くように気持ちの良い締め心地や、一度締めたら緩んでこないのは上質の絹糸を使用した手組みならではの。手組みの生産量は全国の約8割を占めています。

藤岡 かほり

漆芸



ウルシの木の樹液である漆は、日本において縄文時代から塗料や接着剤として使われ、生活に欠かせないものでした。以来、発展を遂げたその制作工程は基本的なものだけでも40以上に及び、完成までに数ヶ月を要します。

多彩な加飾技法により、その表現力には限りがありません。伝統的な技法に加え、自分なりの表現に挑戦することで、漆に馴染みのない人にまで興味を持ってもらえるようなものづくりを目指します。

村上 麻紗子

ごあいさつ

この度は、私たちの展覧会をご覧いただきありがとうございます。
東海3県で伝統工芸を受け継ぐ女性職人のグループ凜九。

伝統工芸を担う女性たちとグラフィックデザイナー 柳がタッグを組み、未来へ芽吹く展覧会となりました。

凜九にとって、初めての展覧会。ここに来るまで、伝統工芸を受け継ぐ職人の抱えるさまざまな壁にぶつかりましたが、たくさんの方々のご協力と応援でこの日を無事に迎えることができました。

本当にありがとうございます。

今日芽吹いたこの蕾が、いつか凜と花開くその日まで、
どうか見守っていただけましたら幸いです。

凜九一同



ご協賛のみなさま

浅場 岳人

荒木 康行

安齋 四郎

伊藤 恭平

伊藤 街叟

イトノサキ

稲垣 佐苗

井上 幹夫

今村 俊文

岩井 綾子

小木曾 確

沖野 兼一

おめかしラボ ri-bo-n

かっぱう若紀久 喜旬

株式会社 シイング

株式会社 松久永助紙店

鎌形 充啓

カミノシゴト

川合 福瑞

川戸 恵子

川原田 淳

駒田 理香

坂上 俊陽

坂倉 和宏

澤村 温也

下條 崇

庄司 元也

昭和着物館 井澤伸子

新江戸染 九久商店

鈴木 愛

鈴木 万治

草染茶

大東化工 株式会社

タカノ マイコ

谷淵 弘子

塚本 耕也

辻 晃一

土屋 諭

ナカガワ シンスケ

ナカジマ ミキ

中西 茂雄

中道 宏治

中村 武

中森 浩二

長良川デパート

西口 光浩

ニッシンウェルディング

日本工芸 株式会社

日置 正樹

古川紙工 株式会社

ポイント・フォワード 株式会社

細谷 佳子

本田 春夫

松原 登志雄

松原 秀樹

松久 恭子

丸重製紙企業組合

宮本 知二

村越 高雄

森 康充

森永 知子

有限会社 新世紀工房

有限会社 谷クリーナーズ

吉田 宗義

RACCOLABO

りんどう屋

(佐々木英人・富山 華葉)

渡邊 拓也

(2018.4.3 現在 五十音順)

皆様のご支援に心より厚く御礼申し上げます。
この温かいお気持ちはこれからの凜九と共に歩んでいきます。